

教えて 学んで 楽しもう

学びのトレジャー



Vol.5

2024年2月9日

技術・家庭科教員の 試練・魅力・醍醐味

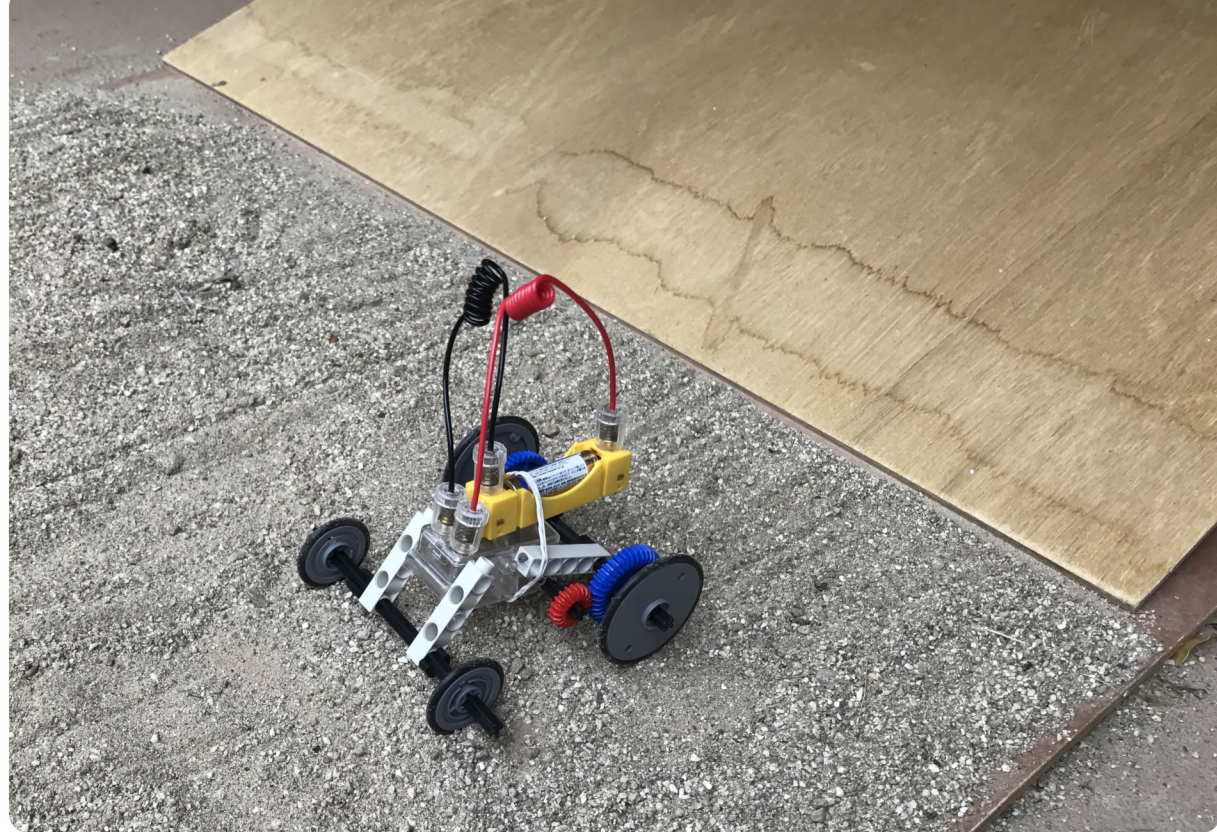
愛知県安城市立安城南中学校

長澤 啓介 先生



ご存じのとおり、現学習指導要領には、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進することが求められています。また、「C エネルギー変換の技術」において、「イ 問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えること」と示されています。これらを実現するために、東京学芸大学こども未来研究所が開発するパッケージ商品〈TECH未来〉を扱ってきました。

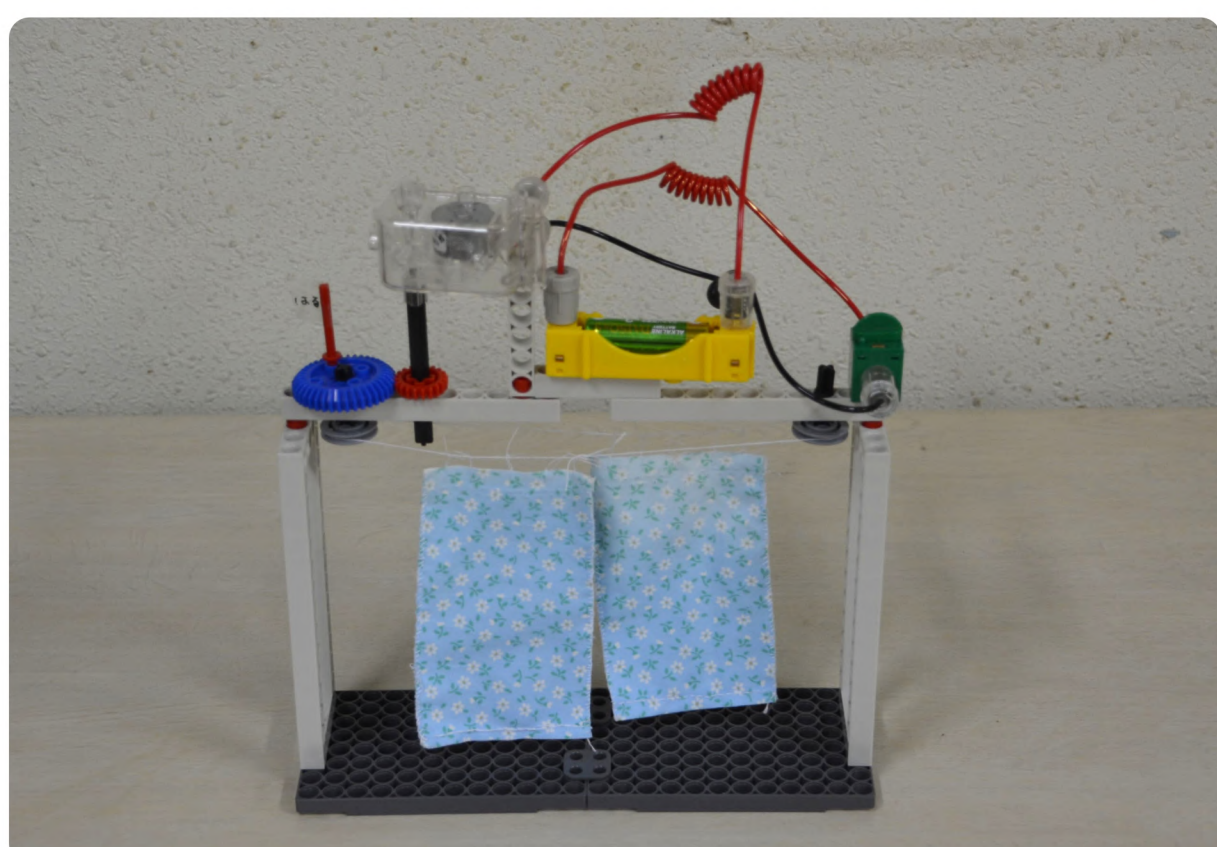
〈TECH未来〉はギヤやフレームなど31種類のパーツから構成され、比較的簡単に組んだり外したりすることができ、説明書などは一切なく、失敗を恐れることなく問題の解決に取り組むことができます。また、身近なところで多く使われている歯車を教材として扱うことで、先人からの技術の伝承やこれからの産業の発展のあり方について考えることができると思いました。



〈TECH未来〉を用いて、さまざまな障害物を含んだコースのゴールを目ざす電気自動車を製作したり、生活で不便に感じていることを改善するためのしかけの開発に取り組んだりしてきました。思いどおりの作品にしようと試行錯誤を繰り返す生徒の目は、光り輝いています。

常に時代の先端を扱うことは、技術・家庭科の教員にとって、試練であります。それと同時に、この教科の魅力であり、醍醐味でもあると思っています。題材を設定するために、さまざまなことを調べたり、考えたりすることは、大変ではありますが、それを通して得た学びや人とのつながりは、私の財産です。

教員は、生徒の成長を願って取り組んでいると、自分自身も成長することができる、素敵な職業だと思っています。これからも、生徒とともに歩を進めることのできる教員であり続けたいです。



生徒考案のしかけ カーテン自動開閉装置「ぐるぐるカーテン」

開隆堂